

明石市立二見中学校 第1学年(72回生)学年通信 平成29(2017)年9月25日 第34号

体育大会を終えて・・・



私は、体育大会を終えて「みんなで一つのことをやりとげる」ということの大切さを知りました。大縄はもちろん、リレーは全員で一つじゃないけれど、相手と協力してするものだったので、みんなで協力すれば、一人じゃ無理なこともやりとげることができるので、「みんなで一つのことをやりとげる」とういことは、とても大切なことだと思いました。次に思い出に残ったことは、大縄で2位になれたことです。今まで、ベストで合計 104回ぐらいだったのが、178 回という新記録がでたけれど、先生に「やればできる」といわ



(1組)

体育大会を終えて、クラスなど長って、クラスなど長れ、綱引きが成援した、として、と思います。 それは、応援したいででして、ななをで、りいて、ないででして、ないでであるとして、ないでであるとして、よりでは、ないの時、からもとの時、からないがある。本のでは、でいい、でいい、でいい、でいい、大りとしているととに、自分も成長してクラス、、



学年全員がこの体育大会で学んだことは多いから、これを日頃の生活に生かし、文化祭にも「本気」で取り組んで、クラス全員がそろい、学年文化祭から全校文化祭に進んで、今回の体育大会みたいに全力でやりたいです! (1 組)



しゃべったこともなかった人と話ができて、協力できたからこそ、2回ぐらいしか跳べなかった混合が当日40回と何倍も多く跳べた理由だと私は思います。女子が跳んでいる時は、女子も男子も跳んでいる跳んでいないに関係なく声が出せていたと思うので、少ない数だったけど、悔いなく終わりました。男子が跳んでいるときも、一緒に声を出して、練習の時はどうなるかと思っていたけれど、90回と多く跳べていたので、この結果から、協力というのが大事だなと改めて思いました。だから、このように協力できたということをこれからの学校生活に生かして、もっと成長させていきたいと思いました。

あと、行進で学年1番を取れたことが嬉しかったです。たくさんの思い出ができて、一 生心にのこる大切な体育大会になったと私は思います。 (2組)

私は体育大会の練習には、あまり出れていなかったんですけど、クラスのみんなが場所ややり方を教えてくれて、体育大会本番をむかえることができました。本番ではやり直しがきかないので、最初から集中して取り組むことができたんじゃないかなと私は思っています。大縄では、最初の頃は男子のことを責めることもあったけど、当日はすごい跳んでくれて、あーすごいなと思いました。綱引きは負けてしまったけど、みんなが作戦を覚えていて、協力したことは本当なので、私は結果は負けても楽しめたので、良かったと思いました。リレーでは私はあまりいい結果ではなかったけれど、自分の席に戻ると、周りの子たちが「おつかれさま」と言ってくれてすごく嬉しかったので、自分もそうしようと思いました。どんな顔して帰ったらいいのか分からなかったので、そういう声をかけてもらえると、とても良かったです。みんながリレーで走っているとき、すごくみんなで応援して、仲のいいクラスだなと思いました。

